

1 基本方針

「持続可能で、やさしい公共交通ネットワークの構築」

本市が目指すこれからの地域公共交通は、高齢者や障がい者を含め、誰もが安心・快適に利用できる「やさしい（優しい・易しい）公共交通」でなければならないと考えます。

また、本市の最上位計画である第五次総合計画後期基本計画の公共交通分野における主要施策は「持続可能な公共交通ネットワークの構築」としています。総合計画の主要施策と共通の内容を基本方針とすることで、計画の実効性を高めていきます。

2 計画の目標

「基本方針」や「課題」を踏まえ、3つの目標を掲げます。

目標1：公共交通の利便性を高め、利用の促進を図る

高齢者や障がい者の方を含め、誰もが安心して、移動ができる環境を整えるため、運行形態の見直しやICT（情報通信技術）、AI等を活用し、公共交通の利便性を高め、利用の促進を図ります。

目標2：公共交通の運行を効率化し、安定的で継続的な運行体系を構築する

運転士不足や本市の財政負担の増加の問題に対応し、持続可能な公共交通を実現していくため、利用実態に合わせた運行の効率化を図り、持続可能な運行体系を構築します。

目標3：地域内との連携を深め、地域とともに「くらしの足」を確保する

運行の維持が極めて困難な状況に陥っている生活交通をこれからも確保していくためには、地域の参画がとても重要であることから、地域住民の通院や買い物における移動の問題を地域と共有し、連携を深めて難題を解決していきます。

3 達成状況の評価

(1) 評価指標

設定した目標を評価する指標として、以下の指標を設定します。

表 5-1 目標と評価指標

| 目標 | 評価指標 |
|-------------------------------------|--|
| 目標 1：公共交通の利便性を高め、利用の促進を図る | 評価指標 1：市民 1 人当たりの地域公共交通の利用回数 |
| 目標 2：公共交通の運行を効率化し、安定的で継続的な運行体系を構築する | 評価指標 2：収支率 評価指標 3：1 乗車当たりの柏崎市の財政負担額 |
| 目標 3：地域との連携を深め、地域とともに「くらしの足」を確保する | 評価指標 4：地域公共交通の運行維持のために協働参画する地域数 |

(2) 評価指標値

達成状況を評価する評価指標値を、下記のとおり設定します。

表 5-2 評価指標値

| 評価指標 | | 現況値 R1(2019)年度 R2(2020)年度 | 目標値 R8(2026)年度 |
|--|---|--|-------------------|
| 評価指標 1 市民 1 人当たりの地域公共交通の 利用回数〔回/年〕 | | R1 : 5.93 回/年 R2 : 3.94 回/年 | 6.00 回/年 |
| 評価指標 2 収支率〔%〕 | 全体 | R1 : 25.75% R2 : 24.63% | 30.00% |
| | 越後交通(株)バス路線 〔・路線バス ・市街地循環バス〕 | R1 : 27.39% R2 : 26.21% | 32.00% |
| | 地域内交通 〔・高柳町地域内交通 ・西山町地域自家用 有償旅客運送など〕 | R1 : 3.48% R2 : 2.40% | 5.00% |
| 評価指標 3 利用者 1 乗車当 たりの柏崎市の 財政負担額〔円/ 年〕 | 全体 | R1 : 244 円/年 R2 : 438 円/年 | 269 円/年 |
| | 越後交通(株)バス路線 〔・路線バス ・市街地循環バス〕 | R1 : 174 円/年 R2 : 334 円/年 | 212 円/年 |
| | 地域内交通 〔・高柳町地域内交通 ・西山町地域自家用 有償旅客運送など〕 | R1 : 3,699 円/年 R2 : 5,560 円/年 | 3,432 円/年 |
| 評価指標 4 地域公共交通の運行の維持のために 協働参画する地域数〔地域〕 | | R2 : 3 地域 米山地区：地域内交通の運営 野田地区：地域内交通の予約受付 高柳地区：地域内交通の予約受付 | 4 地域 |

※各評価指標値は、1 年ごとに市や交通事業者などが、それぞれ協議会へ報告することとします。

(3) 評価方法

1年ごとに事業の実施状況や可能な評価指標値を整理し、計画の進捗確認と効果の検証・評価を実施します。これを踏まえて毎年度の取り組み内容を見直すほか、令和6（2024）年度において本計画の中間評価を行います。

表 5-3 本計画における評価の方法・手順

